

# 検査結果表 1

利用者 番号	001273972	フガナケン 知 氏名 検診 太郎	性別：男 年齢：34歳	今回検査日 平成18年 4月12日 (B) 前回検査日 平成18年 3月 4日 (B)
-----------	-----------	---------------------	----------------	--

検査項目		2006. 03. 04	今回	基準値	判定
一般	身長	173.5	173.5 cm		
	体重	78.1	78.1 kg		
	肥満度 (BMI)	25.9 *	25.9	18.5~24.9	肥満1度 (生活習慣改善)
	体脂肪率 (BODPOD)		%		
	体脂肪率 (インピーダンス)	22.8	22.8 %	~24.9	
	体脂肪量	17.8	17.8 kg		
ウエスト周囲径		98.0 cm			
循環器	安静時血圧	148 / 94 *	135 / 99 mm/Hg	~139 / ~89	
	安静時心拍数	64	70 拍/分		
	API				
	動脈硬化指数				
呼吸器	努力性肺活量		ml		
	比肺活量		%		
	1秒率		%		
	CO濃度		ppm		
肝機能	AST (GOT)	20	20 IU/l	~35	異常なし
	ALT (GPT)	22	22 IU/l	~35	
	γ-GTP	30	30 IU/l	~55	
	アルカリフォスファターゼ		IU/l		
	コリンエステラーゼ		IU/l		
脂質代謝	総コレステロール	221 *	221 mg/dl	~219	高脂血症 (生活習慣改善と定期的検査)
	LDLコレステロール	152.0 *	152.0 mg/dl	~140	
	HDLコレステロール	61.0	61.0 mg/dl	40~	
	トリグリセライド	213 *	213 mg/dl	~149	
	リポ蛋白-a		mg/dl		
糖代謝	空腹時血糖	101	101 mg/dl	60~109	異常なし
	HbA1c	4.8	4.8 %	~5.5	
	インスリン		μU/ml		
	HOMA指数				
尿酸	7.9 *	7.9 mg/dl	~6.9	高尿酸血症 (生活習慣改善)	
蛋白代謝	総蛋白	7.4	7.4 g/dl	6.5~8.0	異常なし
	アルブミン	4.7	4.7 g/dl	4.0~	
	A/G	1.7	1.7	1.2~	
	α1-グロブリン		%		
	α2-グロブリン		%		
	β-グロブリン		%		
	γ-グロブリン		%		
腎	クレアチニン	0.9	0.9 mg/dl	~1.1	異常なし
尿一般	尿蛋白	-	-	-	異常なし
	尿糖	-	-	-	
	潜血	-	-	-	
	ウロビリノーゲン	±	±	±	
血液	赤血球数	518	518 ×10 <sup>4</sup> /μl	400~570	異常なし
	ヘモグロビン	16.2	16.2 g/dl	13.0~17.0	
	ヘマトクリット	46.3	46.3 %	40.0~52.0	
	白血球数	6060	6060 μl	3000~9099	
	血小板数	27.7	27.7 ×10 <sup>4</sup> /μl	13.0~50.0	

検査項目	今回結果	前回結果
診察 安静心電図所見 安静心電図診断 負荷心電図所見 負荷心電図診断 骨密度診断	実施せず 異常なし (正常) 異常なし (正常) 正常洞調律 J型ST低下 (正常) 運動負荷陰性 異常なし	診察所見異常なし 異常なし (正常) 異常なし (正常) 正常洞調律 J型ST低下 (正常) 運動負荷陰性 異常なし

※今回結果の前についている\*印は結果が標準域とはずれていることを示し、\*は要観察、\*\*は要精検、\*\*\*は要医療を意味します。※アルカリフォスファターゼ測定法変更のため、2004.4.1から基準値が変りました。

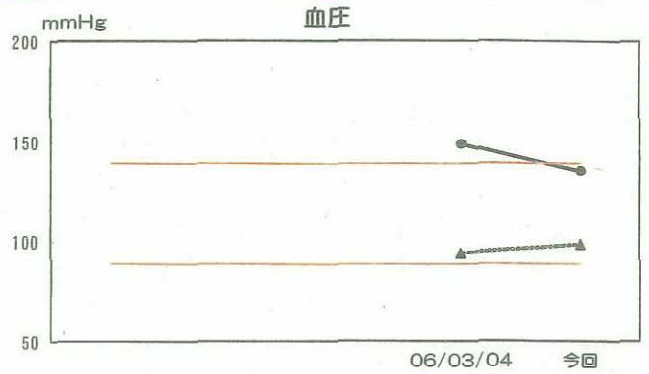
# 検査結果表2

利用者番号	001273972	フガナケン 知 氏名 検診 太郎	性別: 男 年齢: 34歳	今回検査日 平成18年 4月12日 (B) 前回検査日 平成18年 3月 4日 (B)
-------	-----------	---------------------	------------------	--

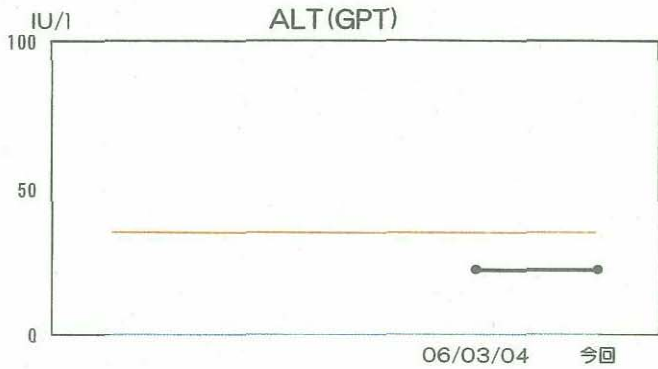
は、基準範囲です。データの推移に注意しましょう



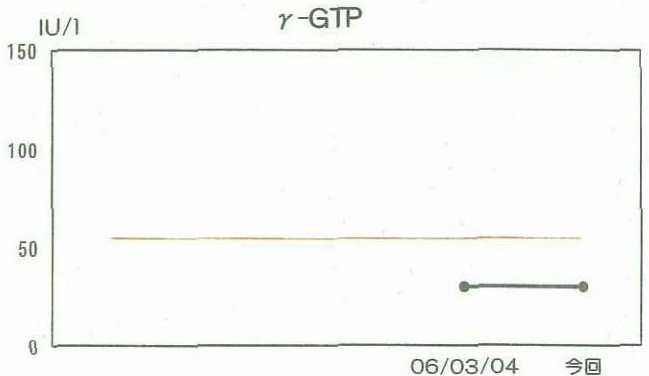
BMI = (体重kg) / (身長m)<sup>2</sup> の計算で得られる肥満の指数です。25以上を肥満、18.5未満をやせと判定します。



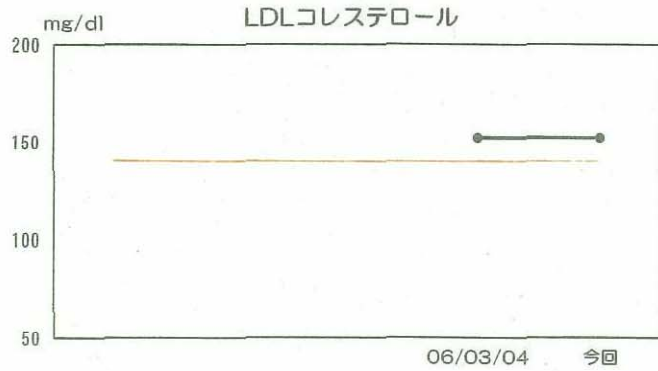
血圧が高いと、脳卒中、心筋梗塞の危険が高まります。収縮期血圧140mmHg以上、もしくは拡張期血圧90mmHg以上を高血圧と判定します。



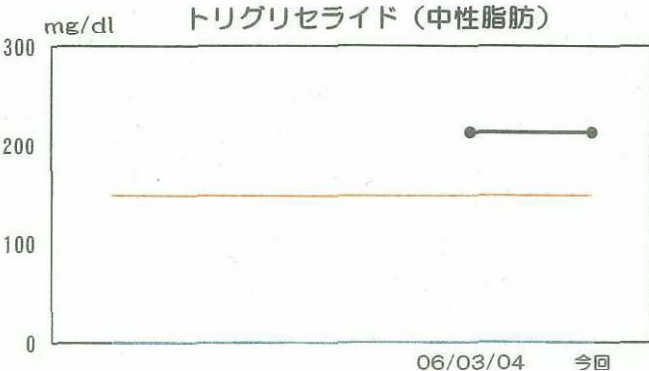
ALTは肝臓で産生される酵素です。高値の場合、肝臓に問題があります(脂肪肝、肝炎など)。



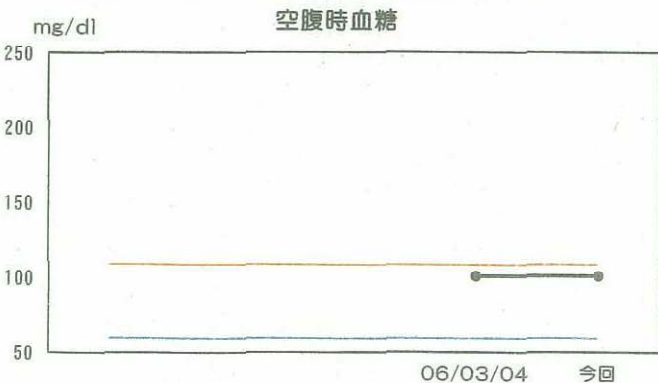
γ-GTPは肝臓で産生される酵素です。多くの場合、飲酒で増加します。



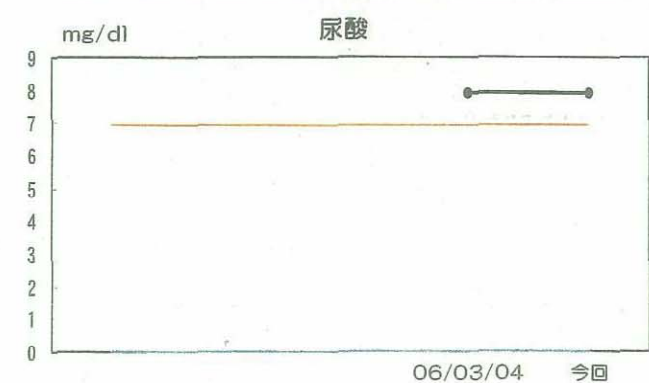
LDLコレステロールは悪玉コレステロールです。高値の場合、心筋梗塞の危険が高まります。140mg/dl以上を高LDLコレステロール血症と判定します。



トリグリセライドは血中脂質の一種で、カロリー摂取過剰もしくは運動不足で上昇します。150mg/dl以上を高トリグリセライド(中性脂肪)血症と判定します。



糖尿病とは血糖値が異常に高くなった状態です。126mg/dl以上の場合、糖尿病の可能性が疑われます。110~125mg/dlでは、軽い糖代謝異常が潜んでいる可能性があります。



尿酸値が高くなると、血液中に溶けきれず、関節腔内とその結晶が析出し、関節炎(痛風発作)を引き起こします。7mg/dl以上を高尿酸血症と判定します。